

2016年4月入職

たかはしこうき
高橋光希



遠回りでいい。一度や二度の失敗で諦めない

リベンジを期しての再チャレンジ

思いやりエキスパートに立候補したのは、今回が二回目です。去年もチャレンジしたのですが、合格には至りませんでした。ちょうどその時期、同じ施設で働いている同期の介護士が老健大会（横浜市介護老人保健施設研究大会）で壇上に立って発表しているのを目の当たりにし、同期との差が開いていると感じました。そこで、「自分も負けていけない」という競争心が湧いたことが、今回再チャレンジした背景にあります。

一回目に不合格になった後、「なぜ落ちたのか」をフィードバックしてもらいました。研修の最後に現場審査があるのですが、私の動きはぎこちなかったそうです。振り返ってみると、確かにそうだという実感がありました。グループの本部の方々に見られていることへの意識で、普段通りの所作や振る舞いができなかったのです。その反省を踏まえ、今回は誰に見られても動じないように、思いやり行動を自分の中に叩き込みました。合否が出るまでの間、何とも言えない不安があった分、合格の報せを聞いたときは本当に嬉しかったです。

できない自分から、目を逸らさない



入職して間もない頃、とあるご利用者さまから厳しいお言葉をいただきました。言い返したくなかったのですが、当時の自分に力が足りなかったのは事実です。このままだと、他のご利用者さまや同僚にも認めてもらえないと思いました。そのときに私が決めたのは、悔しさをバネにすることです。挨拶や行動を見直し、改善すべきだと思ったところはどんなに些細なことでも直していきました。それまでは一年目とい

うこともあり、不安な表情で介助していたのですが、それ以降は笑顔を心がけました。一年後、厳しいお言葉をいただいたご利用者さまから「君は変わったね。本当に成長した」と言われたことは今も鮮明に覚えています。

入職当時を振り返ってみると、私は他にも失敗をしてきました。しかし、失敗を失敗で終わらせるのではなく、失敗を繰り返さないことを常に心がけてきたと思います。思いやりエキスパートで一度不合格になったこともそうです。不合格になった自分から目を逸らさず、なぜそうなったのかを考え、次への糧にしたことが今回の結果につながったと思っています。これからも一度や二度の失敗で諦めるのではなく、成功に向けて努力していきたいと思っています。



安全・安心を常に心かけ、
どんな時でも
思いやり行動を
実践します!!
高橋 光希